

突然家の70のシャワーが壊れた。使い始めて7年目、ちょっと早すぎないか、まあ私からいけば70のお湯が使えるならば、それはもうラッ屋ホテルの夏場でも冷水のみはちょっとキツイのだ。

自問自答

その14

発行人: 夏休み中の人間ドックに向け

広島市立己斐上中学校 進路通信

現在、体を調整中...の

令和4年7月19日(火)



覚えておきたいワンフレーズ「Long time no see!」 皆さんお久しぶりです。久々の進路通信です。修学旅行直前に配った英会話実践プリント、実践も何も、海外からの旅行者がいないいない(笑)。

唯一、桂浜で見かけた2人組の女の子、伊藤さんに「行けっ、行けっ!」と背中を押して、伊藤さんが勇気をもって話しかけに行ったら、、確かにブラジル出身ではありましたが、現在はもう長いこと東京に在住、日本語ペツラペラの2人組でした。

でもあの場面で話しかけに行った伊藤さんの勇気に拍手を送りたい!! パチパチパチ、、、バッカー認定!

さて、今回の懇談会で「第2回進路希望調査」が配付されることは言いましたね。小学校から通算9回目の夏休み、これまでの夏休みで皆さんが最も勉強する(はずの)夏休みです。その夏休みの間に家族の方々ともしっかりと相談して、8月26日(金)までに提出してください。

そこで今回は私立高校の入試制度についてのおさらい(確認)です。

【推薦】

その私立高校が第一希望であり、公立を含め、その学校以外は一切受験(受検)しない。合格が決まれば、もちろんその学校に入学する。

【専願】

公立高校が第一希望。私立の中ではその学校が第一希望。よって、公立高校に合格すれば、その公立高校に進学。公立高校が不合格だった場合、その私立高校への進学を強く希望している状態。

注意点として、その私立高校に合格した場合(当然、公立の合格発表より前なので)、入学手続き金を必ず支払う必要がある。(公立に進学することになっても返金はない。通常6~7万円ほど)

たとえ入学手続き金もどってこないことになっても、この制度を利用する最大のメリットは、私立高校を2校(以上)受験する必要・負担がなくなる。これは気力・体力・経済面から言っても非常に大きい!

【利用資格】

上記の制度を利用すると、一般制度で受験するより、合格できる可能性が大いにアップする! もちろん100%、絶対の合格を保証するものではないが、確実にアップする。あなたがサイヤ人だったとしたら、スーパーサイヤ人ぐらいにはなる。ジャンプ世代にしか通じないか、、であるならば、使えるものなら使いたい。しかし当然のことながら、上記の制度を利用するにはクリアしなければならない条件があるわけで、誰もが無条件に利用できるわけではない。大きく分けて2つの条件があります。

その1つが高校側から求められる成績・学力。高校側から「このくらいの成績・学力はとっておいてね(つけておいてね)。そうでないと入学してから授業についていけずに、結局やめちゃうことになるかもしれないから、、、」というもの。もう1つがズバリ「あなたのやる気!」。これについては次号で!

図書室にもある「JK.インドで常識ぶ壊される」は卒業までに読むといよ。君たちと同じ年の女子が親の仕事の都合でインドへ引こし!! (それも最近の話)。インドを見て感じたことがリアルに書かれています。私が行ったのは25才の時だけ。君たちに伝えたい。

自問自答

その15

広島市立己斐上中学校 進路通信

発行人: 話し...ことと同じことがこの本には書かれています。あとは実際にやってみるといいかな。飛行機で8時間。まあ遠くはないわ。

令和4年7月22日(金)



【もう一つがズバリ「あなたのやる気!」。これについては次号で!】で、前号は終わってしまいましたので今回はその続きです。

私立の推薦・専願制度についてのお話でした。成績・学力以外のもう一つの条件「あなたのやる気」とは一体何なのでしょう。それは高校に進学してからも、「学びを継続することができますか?その準備は整っていますか?」ということです。

具体的に言えば、提出物を期限内に出していますか? 集団生活をやっていく上で相手のことを尊重できていますか? ルールを守ることができていますか? 時間を守る(遅刻や時間ギリギリの生活になっていませんか?)ことができていますか? といったことなどです。

次なる進学先は、義務教育であった中学校と比べると、自由度が高くなると思います。自由度が高くなると聞くと「よっしゃ!!」という感じでしょうが(笑)、それだけ今より各自の責任度もあがってきます。今より自己管理能力が求められます。今までのように、手取り足取りフォローされることは激減します。

高校側から「この子はどんな生徒さんですか?」と聞かれたら、中学校としては、提出物を出していないのに、出していますよ、とか、遅刻しているのに、遅刻は0です、とか、遅刻ギリギリの毎日なのに、生活リズムは問題ないですよ、とか嘘はつけません。事実を伝えます。皆さんが高校側だとしたら、それらの事実を聞いてどう判断しますか? すんなり「では推薦・専願で」ってなりますか?

夏休み明け、チャンスです!! もしこれまでの自分の生活で「準備が整っていなかった」としたら、夏休み明けは大チャンスです。成長した姿が見られれば、「夏休みまでは少々不安なところもありましたが、夏休み明けてからはもう大丈夫です! 本人の準備も整いました!」と事実を伝えることができます。

ただ、1つ大事なことを忘れないでください。それは推薦・専願を取るために頑張るんじゃない、義務教育を終え、今より広い世界へ羽ばたいていくために、前向きに、前向きに、自分ができていることに精一杯取り組み続けた結果、推薦・専願制度がついてきた(ついてくる)、ということ。そうでないと、推薦・専願を目的として頑張るといことは、裏を返せば、推薦・専願がなければ頑張らない(頑張れない)、ってことになっちゃいませんか? 推薦・専願が決まったら、急にワガママになっちゃったりしません? 推薦・専願を取ることを目的じゃないんです。先生たちはもっとその先、皆さんが少しでも幸せな人生楽しい人生を送れることを願い、祈り、応援し、寄り添っていけたら、...と思っています。